

令和3年(2021年)4月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2021年4月 数量 (トン)	2021年4月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	大根	千葉県産、茨城県産中心の入荷でした。前進出荷となり、平年より多い入荷でした。平均単価はかなり安く推移しました。	514	79	118%	64%
2		キャベツ	神奈川(三浦)県産、千葉(銚子)県産中心の入荷でした。2週間程度の前進出荷となり、平年より多い入荷でした。平均単価は大幅に安く推移しました。	1,359	71	115%	48%
3		トマト	2月以降の積算温度が平年より高く、順調な入荷でした。平均単価は安く推移しました。	388	332	101%	80%
4		レタス	茨城県産中心に群馬県(高原レタス)の入荷でした。入荷量はやや増加しましたが、雨天の影響により品質が不安定となり、平均単価はかなり安く推移しました。	344	142	110%	60%
5		馬鈴薯	鹿児島県産中心の入荷でした。長雨の影響により入荷量は前年並みで推移しました。平均単価は、大幅に高く推移しました。	310	308	99%	175%
6	果実	その他柑橘	順調な入荷により、入荷量は増加しました。平均単価は堅調な需要により、高く推移しました。	399	346	111%	114%
7		りんご	サンふじの果肉内部褐変による問題が発生し、入荷量はかなり減少しました。平均単価もかなり安く推移しました。	186	250	59%	58%
8		いちご	気温が高めに推移したことから、軟質果が多発し、入荷量はやや減少しました。平均単価は安く推移しました。	173	1,044	97%	87%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)0~2%
- ②やや増加(減少):(+)3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上